

# 社内報 [九 火]

1965 9 月 (1 号)

九州火力工事株式会社

## 発刊のことば

この度、社内報を発刊することとなりました。従業員の皆様へ会社の現況を知って頂き、真の理解の上に立つた相互協力により皆様の能力を結集して社業発展の地固めをしたい念願であります。また感想文、通信文、俳句詩歌なども載せて頂き、各自の趣味面の交歓によって社内の親睦をはかり会社生活をより楽しいものになりたいと考えます。

初めての試みでありますので、最初から高産の勝れたものが出来るかどうか心配されますが、会社の皆様のご協力を得れば必ずや立派な成果が得られ有用な上に皆様に親しまれ喜ばれるものに育って行くものと確信致しております。

創立、早や十年を過ぎながら成長を続けている当社はここに社内報を発刊してこれがその成長発展の生きた記録の道標ともならんことを願うものであります。  
(社長 古賀 三郎)

## 建設 ■ 男の唄 (つづく)

俺等は九火の建設男

さあこいどんと来い何時なりと

タンクもボイラもタービンも

男の腕にやまだ足りぬ

(河田、原田 正喜)

## 8 月度人事異動 (本店発令分)

所属	資格	氏名	発令事項
港事務所	技師	小田 義則	河田事務所技術課班長
河田事務所	〃	坂村 崇	港事務所機械課班長
大村事務所	〃	江口 茂	〃

## ★ 大村だより ～祝 社内報発刊～

社内報が発刊されることになりました。皆様と共に御慶び申し上げます。

さて、記念すべき創刊号に当大村事務所の現状を御披露するのも又意義あることと想います。

当事務所は九州文化の中心地福岡を距れること西へ約 136 Km 風光明媚な大村湾に臨み、県立公園野岳頭、多良岳を背後にひかえ東西に走る国道 34 号線に沿い、実に大自然の環境に恵まれた豊かな田園都市にあります。

(業務状況)

- ① 大村発電所関係は設備容量が 1 号機 66,000 KW (532.8 宛度) 2 号機 156,000 KW (539.8 宛度) の保守並びに助勢に万全の努力を尽しております。
- ② 唐津発電所の建設工事に電気関係の若干の方が従事しております。来たるべき本格的な建設時期には多数の方が仕事に従事されることでしょう。
- ③ 世界の造船界に年間最大進水量を誇る三菱長崎造船所に船舶電気設計要員を派遣しております。
- ④ 九州電力の各支店関係の通信設備の定期点検整備に必要時だけ係員を派遣しております。

従業員数も 1/4 名を減え、当事務所では竹き良い取組作りをモットーとして「健康でほげらかに無事故で楽しく」の標語を掲げ健康と安全に努め、一糸「ムダ」を断ち合理化に邁進し、会社と従業員一同の更に飛躍的な向上を期待しております。終りに社内報今後の御発展を祈念致します。  
(園田 事務所長)

## (役員陣の陣容)

社長	古賀 三郎	
常務取締役	池田 修蔵	(兼、港新小倉事務所長)
〃	大橋 清	(兼、河田事務所長)
取締役	小島 隆	(九電常務取締役)
〃	永野 勇	(九電工社長)
常任監査役	湯下 淨美	
監査役	布野 健士	(九電取締役、高梁川港社長)
常任相談役	石橋 正人	(元社長、会長)

## 業務改善提案受賞者

賞 賞 クリンカーホッパー炉内灰詰り洗滌工具 新小倉事務所 土川 善一  
〃 蒸気鉄板折曲機 (手動式) 大村事務所 秋本繁治  
以上、2 名 8 月 2 日 提案採用決定しました。

## ★ 港だより ～新港二期掘削工事はいよいよ本格化～

かねて九電で建設中の新港火力タービン増設工事の管部吊揚式が去る 8 月 25 日同所構内で行なわれました。

式には高浜所長をはじめ九電本店より吉田火力部長、バブ 日立より野村常務、当社より古賀社長、石橋相談役、池田所長列席の上神式によって始められ、当社北野所長指揮のもとに無事吊揚げ、拍手のうちに式を閉じました。

今後の建設工事の本格的再開の手始めと云うことで、建設現場は懐に毛髪を呈し、所費一同奮闘して工事に従事しています。

## ★ 小倉だより ～本年度の定修無事終る～

今年の定修は 5 月 30 日より 1 号機、2 号機と行い、8 月 10 日に無事終了しました。8 月 27 日発電所保修課と反省会を行い今年の定修は良好であったとの御講評をいただきました。

## ★ 河田だより ～野球大会～

労災池田記念監督主催河田地区野球大会に出場し、次ノ回戦鹿島建設に 6 対 3 にて決勝、準決勝で九電河田に 3 対 4 にて惜敗。

## (趣味)



(俳句) 白雪 おどる日影や夏木立 (本店、荒木)  
新風 ぬいごかいの後音たかし (〃、沢田)  
志賀島に泥み行く陽や藤花く (〃、小野田)  
秋草の花の名知らず育て来し (〃、湯下)

(短歌) 戦争はしてはならぬと 20 年  
祈る心は 今も変わらず (新小倉 岡村)

(川柳) 優勝旗日曜大工はかどらさ (港 白谷)  
保安帽かぶらめ着に今日も落ち (港 田中)

(詩) 雲 (河田 部谷)  
雲、雲 真綿の様な雲をじつと見つめている  
時のたつのも危れてじつと見つめている  
あてもなく流れ何を作ろうとしているのか、雲

## ◆◆◆ 九の字の国語 (河田・宮下 勇)

- 九 天 九個の天体、天上 宮中の意。  
九 穴 人体の穴 九つあり、教えて下さい。  
九 州 中国の九つの国 日本では(筑後、筑前、肥後、肥前、豊後、豊前、日向、大隅、薩摩)。  
九 様 三様、九様。  
九 献 三三九献。  
九 客 忍術。  
九 火 御存知の会社の略称。

## (おこわり)

紙面の都合で御投稿されたもののうち  
翻愛したもの、次回にまわすものもた  
くさんあります。御投稿を歓迎します。

(編集者 湯下)

